

○議長（吉田敏郎）

引き続き、一般質問を行います。

6 番、星野洋一議員、どうぞ。

○6 番（星野洋一）

6 番議員、星野洋一です。

それでは、通告に従いまして、1 問、質問いたします。「開成駅西口駅前広場再整備計画の進捗を問う」。

開成駅は、平成 31 年 3 月に急行停車駅になって 1 年 6 か月が経過し、令和元年度の乗降客調査において駅の乗降者数は 1 万 9 7 3 人となっています。また、南足柄市や大井町、他市・町との交通拠点、小田急線急行停車駅としての利便性も考えれば、開成駅の重要性はますます高まってくるということになってきたと思います。今後、駅前通り線の開通で、みなみ地区とのつながりにより利便性の高い駅前広場として再整備の必要性が求められており、次の質問をいたします。

①現在の基礎調査から、どのような改修を検討しているのか。2、駅前西口ロータリー内の停車スペースの改修をどのように考えているのか。3、近隣の駐車場、店舗等との連携をどのように進めていくのか。4、今後、路線バスの充実がなされた際、停車スペースなどへの影響を懸念いたしますが、どのように進めていくのか。5、駅前通り線の完成は駅前広場再整備計画にも影響があると考えますが、開成都市計画事業駅前通り線周辺地区土地計画事業、事業認可に向けての進捗状況は。

以上、よろしくお願いいたします。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

それでは、星野議員の御質問にお答えをいたします。

開成駅の乗降客数について、急行停車後、新型コロナウイルスの影響により減少しましたが、今後、駅の利用に影響が見込まれる駅前通り線の整備などの動向を踏まえ開成駅を県西地域の副次拠点としていくため、西口駅前広場の再整備に取り組んでおります。

それでは、1 点目の御質問についてお答えをいたします。

開成駅は、町の玄関口として交通結節の拠点であり、駅周辺は町をリードする商業業務の拠点づくりを進めております。将来の駅利用に対応した機能や「あるべき姿」を明らかにして、再整備の方向性を検討しております。昨年度は、西口駅前広場再整備に向けた基礎調査を実施し、駅前広場の基本的な交通処理である交通結節の機能、全ての人が安全・安心に利用できるバリアフリー機能、都市の重要な空間として交流や景観の機能などについて、課題を整理いたしました。今年度は、交通結節機能や安全性のほか、交流の場所として「にぎわい機能」の向上について検討を進めております。

次に、2 点目についてお答えをいたします。

現在、西口駅前広場には、一般車の送迎スペースとして7台程度を確保しております。昨年度の交通量調査において、一時的に混雑することは確認しておりますが、当面は現状にて一般車の停車スペースは十分であると考えております。ただし、将来に向けては、駅利用の推計を行い、一般車の送迎のほかバスやタクシーや歩行者の通行など、交通全体の安全性、円滑性などの視点をもって総合的に検討し、一般車の停車スペースなど、確保すべきキャパシティを考えてまいります。

続いて、3点目についてお答えをいたします。

西口駅前広場周辺は、現状、スーパーマーケットや商業業務ビル、駐車場などの土地利用がなされておりますが、今年度、再整備に向けた基本構想をまとめる中でイメージパースを作成し、町がイメージする将来の街並みを提示してまいります。西口駅前広場周辺については、商業施設や業務施設を増進するため用途地域を商業地域等に指定しておりますが、現状の立地状況については十分ではないと思っており、開成駅を県西地域の副次拠点とするために、さらに、にぎわいが必要と考えております。周辺の店舗等との連携については、駅前通り線の整備など、今後の都市化の進捗状況に応じて再整備を具体的に検討していく段階で考えてまいります。

続いて、4点目についてお答えをいたします。

路線バスについては、総合計画に掲げた公共交通の充実を図る上で新規1路線を考えておりますので、西口駅前広場再整備に当たっても、基本的に、これを踏まえて検討していきます。将来の駅利用の推計結果により検討を進めますが、昨年度の基礎調査で駅前広場の規模を検証した結果、現況5,000平方メートルの広さで、今後、乗降客数が増加した場合においても対応できる見込みであるので、バスやタクシーの区画などを適切に配置することにより、一般車両の送迎スペースには特に影響は出てこないと考えております。

そして、最後に5点目についてお答えをいたします。

新型コロナウイルス感染症の影響により事業に遅れが生じましたが、今年度中の事業認可に向けて取り組んでおります。現在、施行区域に係る地区界境界の立会いが終了し、事業計画（案）を取りまとめております。この事業計画（案）について、許可申請する前には地権者の皆様への説明会を開催する予定であります。今後の新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら開催の方法を検討していきます。また、説明会後に県へ事業認可の申請を行っていきます。

以上です。よろしくお願いいたします。

○議長（吉田敏郎）

星野議員。

○6番（星野洋一）

それでは、御答弁ありがとうございました。それでは、順次、再質問させていただきたいと思います。

まず、現在も基礎調査から、どんな改修を検討していくかということなのですが、将来の駅利用に対応した機能や「あるべき姿」を明らかにして再整備の方向を検討し

ているとのことですが、今後、結節機能と安全性、その他、バリアフリーとか、そういうものを進めていく。ただ、その次に書いてあるにぎわいの機能、この辺のところを、できれば、もう少し詳しく説明していただけるようお願いしたいのですけれども、いかがでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えします。

西口再整備に向けては、様々な機能について検討した上でいくという考えであります。その中の一つとして、にぎわいの機能ということでございます。こちらについて言いますと、まずは開成町における開成駅の位置づけでございます。やはり、これはランドマーク、開成町の顔であるということが大事でございます。その中で、都市の顔としてのシンボルであったり、駅を御利用なさる方々が集える場所、そして、そういった方々が様々な公共サービスを受けられるような、そういったような観点をもって、にぎわい機能というものを考えていきたいと思っています。

ただ、この中では、やはり駅という部分で言うと、防災機能、そういったものの観点も忘れずに、しっかりと開成駅の拠点化を図る上で必要な機能を考えていきたいと思っています。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

星野議員。

○6番（星野洋一）

にぎわい機能、顔、開成町の顔ですね。あと、シンボル。集える場所が、開成駅前、現時点では、そういうものがなかなかできておりませんので、そういうものがどんどんできてきて、開成町、要するに、開成町の先ほど言ったような顔、「ここが中心ですよ」という感じで、これからも、もっともっと各市・町にアピールできるような駅前、そういうものを造っていただけると、これは非常にいいのではないかなと思いますので、ぜひ、もう少し、これからも検討していただきたいと思っています。

それでは、今度は、基礎調査から、どのような改修の検討ということで、実は、自分が思っているのは、改修の規模、開成駅前をどのくらいの形で改修していくのだろうか。大きくすれば、かなりの予算、経費がかかってきますので、そういう部分を鑑みながら、現時点で改修の規模はどの程度のものを検討しているのか。

例えば、ウオークを改修して、駅前の噴水のところは、これから開成駅を使っていくのには、それほど重要ではないだろうと。それでは、そこのところを外してしまって、もっと大きく大きく改修しようと思っているのか、そうでなければ、現時点で、そういうものを壊さずに残しながら配置換えのような状態で駅前の改修を行っていくのか、その辺はどうなっているのか、御説明願いたいと思います。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えします。

西口再整備の改修する規模、どの程度かという御質問でございます。まず、今回の西口再整備の対象という形で、今、調査を進めておりますのは、西口駅前広場の5,000平米、そして広場から県道に通じる道路、約70メートルぐらいですね、駅前通り線が完成してございますので、この区間全体として検討を進めているということでございます。

この中で、様々な機能等を検討して上で必要な機能に基づいて、例えば、配置換えですとか、そういったものを改修していく。どの程度やっていくかというのは検討した結果によりますので、何をどうするかということについては、現時点では、まだ決まっておりません。ただ、交通機能の強化等を図っていく上では、全体的なリニューアルという部分では、様々なところの施設については十分検討して考えていきたいと考えてございます。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

星野議員。

○6番（星野洋一）

規模、どのくらいだと言われて、現時点では、広場、5,000平米、それから70メートル、目の前の道路、それを検討しているということですね。あと、交通の機能をリニューアルしなくてはいけない。前回、調べて、2019年度に調べた調査によっても、いろいろな車の出入り、その他、いろいろな状況が大分つかめてまいりましたので、そういうものを使って交通の機能のリニューアルということをやろうということだと思うのですが。まだまだ、これから、次年度、その次、まだ調査項目がいくつか残っていると思いますので、それによって大分、形が変わってくるということで、まだ、そこまでは、どこまで改修するかはまだ決まっていないよというような現状だと、私はある程度、理解したのですが。

でも、実際のところ、大体の、これ以上の大きなものをやると、町の予算、総合計画には、大分、大きく影響してしまうだろうということも含めて、例えば、もう一つ、中では、広場のロータリーなんかもそうなのですが、歩くところ、5,000平米に含まれている、そここのところの歩いていく周りの地形のところも、どのぐらい、いじってリニューアルするのか。その辺も、ある程度、頭の中というか、町の計画的に進めて、ある程度、概要をつくっておかないと、計画、調べて、これからいくというときに、なかなかうまく話が進んでいかないと私は思っているのですが、その辺のところの概要自体もまだ決まっていないのかどうか、その辺のところを説明願います。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えします。

再整備の内容について、もう少し詳しいところというような御質問だと思うのですが、今、現状の西口駅前広場等については、ある程度グレードの高いというのですか、そういったような整備がなされております。水を基調とした中で、いろいろな噴水であつたり水路というものがあつたりとか、歩道の部分においては平板ブロック等、アスファルト舗装ではないグレードの高いものをやっているというものがございます。こういったものについては、できるだけ、既存で使えるものについては、そのまま残して、経費についてもよく考えた中で整備をしていきたいと思っています。

ただ、先ほど申し上げました交通機能であつたり様々な機能強化、また必要な施設等があるならば、その中で、例えば、改修するなりということを考えていきたいと思っています。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

星野議員。

○6番（星野洋一）

現時点で、グレードの高い状態であると。あそこの調査をした中でも、開成町をつくった時点の計画でも、かなりグレードの高いもの、広いスペースを設定していたみたいですので、現時点で、これから改修するのにも十分な土地だろう、広さだろうとは、調査のあれからは読み取ってきたのですが、それでも、これからいろいろな、先ほども言ったように調査があつて、それによって、にぎわいのある駅前づくりを進めていくのだらうと、今、理解いたしました。一回つくってしまうとなかなか変えられないということもありますので、その辺を考えながらよくよく検討していただいて、その辺を、削除するものがあるのだったら削除を思い切ってしてしまう。

ただ、今、これがずっと続くとは分かりませんが、新型コロナの状態になって、財政が、先ほど、午前中のようにいろいろな話があつて、どのぐらい税収が減るのだらうと、なかなか難しい問題もこれから出てくると思いますので、無理がない程度に、あくまでも、そういうことも考えながら、これからどんどん取り組んでいただければなと思っていますけれども。

それでは、二つ目の質問に移らせていただきたいと思います。

駅前西口ロータリー内の駐車スペースの改修をどのように考えているかということなのですが、令和元年度、開成駅西口広場に向けた基礎調査業務報告概要書によれば、駅前ロータリーの利用頻度が高いのはキスアンドライド、要するに、御主人が会社に行くときに奥様が旦那を車に乗せて駅まで送ってくるというような中身、キスアンドライドということだと思ふのですが、私なんかも割かし、駅前はもちろん、近所ですから、よく見ていると、朝もそういうのが多いですし、当然、帰りも東京のほうから帰ってきた御主人を拾って帰る。そのために駅のスペースのところに一時的に駐車して、それで御主人を迎えてから帰るというふうな使い方が頻度が一番高いということです。

全体で940台ぐらいの、前回のときには約940台、そのくらいのところの台数がある、それを調査したというところがしっかりと書いてありましたけれども、そのうちの77%ぐらい、相当数がキスアンドライドによって皆様があそこにやってくるということが一番、見てとれたというのが、あの調査報告なのですけれども。

御答弁の中では、一般車両の送迎スペースとして7台程度、確保しているということを答弁の中でおっしゃっていましたが、実際、自分、夕方、あそこを通ったときに、かなりの時間、多くの車が、あそのところにスペースに止めて、先ほど言ったようにキスアンドライド状態で待っている方がたくさんいらっしゃるのです。それで、あそこの中にも書いてありましたが、二重駐車、非常に危ないような止め方も見受けられる状態があそこにはあったと思います。

それを解消するのに、7台程度の確保の状態で、これからあそのところが安全にやっていけるのだろうかというのを非常に私は心配しているのですが、まだ初期の段階で、その計画だったと思うのですけれども、先ほど言ったように駅前の改修をうまくして、配置換えでも何でも、もっともっと増やすような状態にできるのではないかと私は考えているのですが、これからそういうあれをもうちょっと検討して、増やすような方向へ持っていくという考えはないのでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えします。

一般車の送迎のスペースの考え方ということでございます。現状については、タクシー乗り場の後方、約50メートル程度において、一般車が止められるようなスペースを御用意させていただいてございます。その中で、駅の利用が伸びている中で一時的に、調査したことにおいて二重停車があるだろうと、あるということについては、町長答弁のとおり確認をしております。

ただ、これを、では、二重停車があるから、その分を全て整然と止められるような駐車スペースを確保するかということで申し上げますと、そこは、どこまで行政が対応するかというような話の部分のことがあるのかなと思っています。やはり、用意すれば用意するほど車は増えるかもしれませんが、ただ、スペース的に、そこが無限にあるということではございませんし、有効に使っていくという部分であったり交通分担。

開成駅に向かわれる方々、徒歩であったり自転車、そういったようないろいろな部分、あとは公共交通で言うならばバスというものがございます。そういったものについて、いろいろな交通分担のものを考えつつ、必要な駐車スペースというのは台数を確保していく。7台がいいのかどうかということについては、今後、将来的な推計をもった中で検証していきたいと思っていますので、今、現状で、その7台について増やすかどうかということと言うと、まだ、それは検討中であるということで御理解いただきたいと思います。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

星野議員。

○6番（星野洋一）

確かに、検討の余地はたくさんあると思います。7台が適切かどうか、私も、はっきり言って、そこまで現場をずっとずっと見ているわけではございませんので、統計から見たら、そのくらいが適当かもしれないというふうな状態でもあるのかもしれませんが、できるだけうまく配置をして皆さんが止まれるようなスペース、そういうのをつくり出していかなければいけないのかなと。先ほど言ったバスの分担、そのことについては、また後ほどお話もするのですが、そういう方向でも分散の仕方はあるだろうということですよ。

ただ、私がもう一つ気になっているのは、例えば、これからやっていく状態で、駅前のタクシー乗り場です。実際のところ、タクシー乗り場、一番、皆さんが乗り降りしたい場所というところにタクシー乗り場が造ってあります。現時点で、あそこのところを調べた状態では、九百何十台のうちのタクシー27台、0.03%しか実は使われていない。その少ないところで中心部を持っていかれていると。これが正しい配置かどうか。

タクシーを利用するお客様というか、方は、高齢者であったり体が弱かったりする方も当然いらっしゃるので、あまりにも極端な、そういうバランスの悪いところへ持ってくるのはどうかと私も考えますが、ただ、現時点で混雑しているのを解消するためには、その辺のところの配置換えも、これからもうちょっと、よりよい考え方に持っていかないと、また同じようなバランスの悪い配置になってしまうのではないかと考えているので、その辺のところをもう少し研究されてやっていくのかどうか、その辺を少しお答え願えますでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えします。

議員の御発言があった中でもあったのですが、バスやタクシー、公共交通を御利用される方という中で言うと、やはり交通弱者の方が多く含まれております。こういった方々の御利用を考えると、一番利用しやすい場所に配置をしていくというのが、これは基本的な考え方でございます。この中で、配置スペースの区画の大きさですとか、そういった部分については、また必要に応じて検討すべきことかなと思っておりますので、まずは、配置については御理解いただいた上で、大きさ等については、また今後の検討の中で考えさせていただきたいと思っています。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

星野議員。

○ 6 番（星野洋一）

これからも、それは様々なことを調べて、その辺のところも検討しながら、位置的なものは変えていきながら、よりよいものをうまく配置してほしいなと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それでは、3 問目の近隣の駐車場、店舗等との連携をどのように進めていくのかということについて、もう少しお尋ねしたいと思います。

駅前広場周辺は、現状、スーパーマーケットや商業ビル、駐車場などがいろいろございますが、今年度、再調査に向けた基本構想をまとめていく中で、将来のイメージパースも作成し、町がイメージする将来の町並みを示していくというふうな回答を頂いておりますが、私の考えからすれば、駅前のスーパーマーケットがかなり大きなウェートを占めると考えております。そのスーパーマーケットも、これから、どの期間、まだあるかも、いろいろ不安な要素が多々あると思うのですが、実際のところ、現時点の駅前のスーパーマーケットは、これからどのような立ち位置で、これからずっとやっていけるのかどうか、こういうことは町とかなり情報交換、そういうのをやって現状を把握しているのかどうか、その辺をお聞きしたいと思います。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えします。

開成駅西口駅前にあるスーパーマーケットが今後、どうなっていくかというようなお話でございますけれども、こちらについては基本的に民のお話ですので、開成町のほうでどうにかするということではございません。

が、開成町としての考え方、都市計画という部分で言いますと、スーパーマーケットを含めた周辺については、商業地域という形の中で商業としての用地として高度化を図っていただきたいというふうな用途の指定をしております。その中では、現時点でスーパーマーケットの営業者であったり土地の所有者等については、今後、どうということになっていくかということについては把握はしてございませんけれども、ただ、南部地域全体の都市化が進展するに従って、現状の平面的なスーパーマーケットというのは続くことはないのかなと。やはり、いろいろな部分で、用途地域、そういったようなものを御理解いただいた上で、それに沿ったような形というか、それに合うような形の中のほうが、より商業的なもので、効果のあるようなものでお考えいただけるのではないのかなと思っております。

今後、そのことについては、また、先ほど町長の答弁があつたとおり、都市化の進捗でしたり、そういったものを含めた中で、西口再整備を検討する段階において、連携等についても考えていきたいと思っております。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

星野議員。

○6 番（星野洋一）

確かに、平面の商業地域としては非常にもったいない、確かに、そのとおりだと思っています。もうちょっと上下の動きというか、そういうものを。どこの駅前でも、大体、発展しているところは確かに上へ伸びて、スペースも、できるだけいいように使っている、ちょっと表現が悪いですけども、その辺なんかも考えながら商業地域を増やしていると思うので。駅前の大切さ、今、確かに、私が言いましたけれども、それ以上に、もっと高度な商業地域としての町並みをつくり出そうという考え方は当然だと思いますので、その辺のところは随時相談しながら、相手の方も町のあれではないので、本当に御相談という状態になるのでしょうかけれども、その辺のところでも、なかなか逃がさないように、うまくうまく持っていただければと思っています。

あと、使えるところというか、駅前連絡所の近辺及び駐輪場等ですかね、あの辺のところが唯一残された開発地域になると思うのですが、そうすると、向こう側だと、当然、普通のお家の方が持っているらっしゃる土地とか、そういうがあるので、この辺のところも地域の土地を持っている方と相談していかなくてはいけないので、単純に町の一存ではいかないかと思うのですが、その辺をうまく、これからやっていかないと無理かなというのは考えられますので、その辺のところをうまく持っていただけたらなと思っています。

それでは、4 項目の今後、バス路線が拡充された際、駐車スペースなどへの影響を懸念するが、どのように進めていくのかということについて、少しお話を聞きたいと思っています。

新規バス路線については、かなり、私、難しいかなというのはと思っています。実際のところ、現時点で1 バス路線はありますが、バス路線を確保している状態で、ずっと人数がいっぱい乗っているよという状態ではないですよ。これから、もし、伸びるとしたら、紫水大橋から先、255 号線に道が延びた場合に限って、もしかしたら向こう側を回ってくるバス路線が、うまくすれば取れるかなみたいな、私は、状態ではないかなというふうには、ちょっと。あまり、「期待している」という言い方はちょっとおかしいですけど、その辺もなかなか難しいかなと考えているのです。

でも、ある程度の目標をつくって計画していかなくてはいけない。その辺、現時点の計画の中にバス2 路線を駐車スペースとして考えているのか、共用バス路線みたいな感じでスペースとして考えているのか。その辺のところでは大部、使うスペースが違ってくると思うのですが、その辺は町はどのように考えていますか。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えします。

バスの区画をどのように考えていくのかというお話でございます。今、現状で言いますと、バスの乗り場については二つの区画、そして降り場ということでは一つの区画、全部で3 バスを御用意させていただいてございます。この中で、町長答弁にも

ございましたとおり、新規1路線を開成駅西口のほうに持っていくという考え方で言うと、もう1バース、4区画必要ではないのかなとは思っております。

これは、本当に、どの時期に使っていくのかと、どういう形で整備するのかということについては、今後のお話ですのでお答えはできませんけれども、基本的な考え方については、そういったようなことでバスの区画については考えていくというところでございます。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

星野議員。

○6番（星野洋一）

先ほど、確かに、バスによって分散しなくてはならないと、当然、それも考えられますから、全く予定していないというのはちょっと問題が出てきますから。ただ、さっき言ったように、それをどのような形ですか。今、1区画、増やすかどうか、その辺が検討課題だよということなのですけれども。その辺も含めて、なかなか難しい検討課題だと思うのですけれども、その辺もしっかりとした調査をこれからしていただいて、できるだけ「早め」と言うのはおかしいですけれども、しっかりした形で配置をするように検討していただきたいと思っています。

それでは、5番目の駅前通り線の完成は駅前広場再整備計画にも影響があると考えているのですが、開成都市計画事業駅前通り線の周辺土地区画整理事業認可に向けて進捗状況はということについて、もう少しお尋ねしたいと思っています。

現時点では、施行区域に係る区域境界線の立会いが終了した状態であるということ、これから地権者への説明会を開くということで説明をいただいたのですが、これ、実際、確かに、新型コロナのことでなかなか難しくなっているとは思いますが、説明会の開催時期はどのくらいと考えているのか、その辺のところをお教えいただけますか。

○議長（吉田敏郎）

区画整理担当課長。

○区画整理担当課長（井上 昇）

ただいまの質問について、お答えさせていただきます。

開成駅につきましては、年内を目標としてございます。開成駅につきましては、年内を予定してございます。地権者等の説明会終了後、議会にも報告をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

星野議員。

○6番（星野洋一）

地権者への説明は年内ということで。これ、新型コロナ、先ほど言ったようになかなか難しいと思っているのですが、各地権者の方との話し合い、これは何割ぐらい進ん

でいるのか。今現在では、なかなか会えないのではないかと。なかなか進めることが難しいかと思っているのですが、実際、どのくらいのところまで進捗、進展しているのか、その辺を少しお教え願えますか。

○議長（吉田敏郎）

区画整理担当課長。

○区画整理担当課長（井上 昇）

ただいまの質問について、お答えさせていただきます。

地権者につきましては、1名の方を除いて全てお話はさせていただいております。新型コロナの感染症の関係で電話等の対応等にもなっております。地権者の意見を全体的確に把握できているかというところは、若干、厳しいところはございますが、順次、お会いしてお話を聞ければということで、今、調整を取って進めております。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

星野議員。

○6番（星野洋一）

1名を除く全部の方にお話、確かに、電話ではなかなか難しい話ではあると思いますが、それは、やはり進めないと次へどんどんうまくいかないということもありますので、ぜひ、その辺のところを進めていただければと思っています。

今の現在の年内予定でいけば、令和2年度の認可予定が可能な状態にあるのかどうか、その辺を少し確認したいと思います。

○議長（吉田敏郎）

区画整理担当課長。

○区画整理担当課長（井上 昇）

ただいまの質問について、お答えさせていただきます。

神奈川県さん、許可権者さんと期間は調整をさせていただいてまして、年内の説明会後、提出で間に合うということで聞いてございます。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

星野議員。

○6番（星野洋一）

年内のことであれば、これによって認可は可能だということで了解いたしました。

それでは、お話としては、新型コロナウイルスの感染症によってテレワークの増加等もありまして、現状、基礎調査と若干、ずれも生じてきているのかなという不安があるのですが、しかしながら、開成駅は町の玄関としての重要な交通拠点でも本当にありますので、将来を見詰めた改修はしっかりしたものでなくてはならないと本当に考えております。開成駅西口広場、その駅周辺のあるべき姿の検討もしっかり進めて、これからも、いろいろ予算的なことも難しいことが出てくると思うので、その辺のしっかりとした検討をお願いして私の質問を終わらせていただきます。

○議長（吉田敏郎）

これで星野洋一議員の一般質問を終了します。

本日の一般質問は、ここまでとします。９月７日（月）も、引き続き一般質問を行います。

本日の日程は終了しましたので、これにて散会します。

お疲れさまでした。

午後４時０９分 散会